

事務事業評価シート(浜田市作成分)～令和6年度実施事業～

■事業の位置づけ（基本事項）			担 当 課 係		弥栄支所	産業建設課	産業振興係
事務事業名	ふるさと体験村維持管理事業		事業予算費目 （ 一般会計 ）				
総 合 計 画 上 の 位 置 付 け	大 綱	地域別計画	款	6	農林水産業費		
	施策大綱	弥栄地域	項	1	農業費		
	基本目標		目	3	農業振興費		
	主要施策	交流人口の拡大	事業	345	ふるさと体験村維持管理事業		

■事務事業の概要（PLAN）

事業の目的	豊かな自然環境を活かした農山村文化の体験による田舎暮らしの魅力を市内外へ発信する拠点とするとともに、地域資源の保存および継承を図るため、指定管理により施設を運営する。	事業の内容	- ふるさと体験村指定管理委託料 - 施設の維持管理費 - 案内標識設定工事費
市民ニーズの把握状況	宿泊客にアンケート調査 やさか表現大学の参加者にアンケート調査 SNS等で情報収集	市民参加・協働の有無 その内容	交流体験「やさか表現大学」 毎月開催 （田植え、種・苗植え、収穫等が体験できる） 体験村周辺の清掃作業 毎月開催

■事務事業の業績・推移（DO）

目標と実績			設定した目標			目標/実績	目標/実績	目標	目標
						R5	R6	R7	R8
			・入込客数の増加 ・ふるさと体験村の宿泊客数の増加		目標	入込客 5,347人 宿泊客 1,391人	入込客 5,651人 宿泊客 1,530人	入込客 5,932人 宿泊客 1,614人	入込客 6,355人 宿泊客 1,851人
			設定した理由・背景			実績	入込客 8,791人 宿泊客 554人	入込客 10,264人 宿泊客 550人	
ふるさと体験村への入込客数や宿泊者数を把握することにより、施設の運営状況の把握や改善方法の検討を行う。									
			R5年度決算	R6年度最終予算	R7年度予算		市民1人当たりのコスト		
事業費	総事業費		9,985,435	11,735,000	10,171,000		R5	199	
	財源内訳	国県支出金					R6	239	
		地方債					各年度4月1日時点の人口		
		利用者負担・その他		1,564,000			R5	50,129	
		一般財源	9,985,435	10,171,000	10,171,000		R6	49,096	

■評価（CHECK）

事業実施・実績に対する意見や評価など	SNSによる情報発信や体験イベント、レストランの食材に地元産のそばや有機野菜を活用する等により入込客については目標を達成している。 しかし、宿泊客については目標を下回っており、今後どのようにして宿泊客を増やすかが課題となっている。
--------------------	--

■改善・効率化の方向性（ACTION）

令和7年度執行に向けた工夫点 今後の課題など	宿泊増に向けた取り組みとして宿泊予約サイトの改善、宿泊料金の見直し、宿泊プランの新設を行う。 どぶろくの製造販売を行うための法人を令和7年3月に設立し、今年度中に製造販売ができるよう準備をおこなっている。 ふるさと体験村でどぶろくを製造販売することで、集客につながることが期待できる。 今後はSNSを活用した継続的な情報発信に加え、観光施設や地元企業等へのパンフレットの配布を行い、地域との連携を強化しながら、認知向上に向けた広報活動を行う。
---------------------------	--